

小牧市における土壌・地下水汚染について(続報)

1 調査結果の概要

県は、シアン化合物による地下水汚染の範囲を確認するため、地下水基準超過が確認された発端井戸周辺に存在する井戸2本の地下水質を調査しました。

その結果、調査を行った全ての井戸で環境基準に適合しており、周辺への地下水汚染の拡大は認められませんでした。

また、発端井戸から半径約500mの範囲内にある周辺事業場の調査を行ったところ、シアン化合物の取扱履歴がある事業場が1件あったものの当該物質の不適切な使用は確認されませんでした。

これらのことから、汚染原因の特定には至りませんでした。

周辺井戸の水質調査結果

	調査地点	調査結果(mg/L)	用途
		全シアン	
1	小牧市新町	<0.1	その他
2	小牧市小牧原新田	<0.1	生活用
	環境基準	検出されないこと	

2 周辺の井戸所有者に対する情報提供

県は、小牧市と連携して、周辺の井戸所有者へ汚染の状況等の情報提供及び飲用しないよう注意喚起を実施しました。

3 今後の対応

事業者は、汚染土壌の掘削除去を実施する予定です。

県は、事業者に対し、土壌・地下水汚染対策を適切に実施するように指導していきます。

参考

○基準を超過した特定有害物質について

・シアン化合物

無機シアン化合物は、非常に強い毒性をもっています。これはシアン化合物が呼吸酸素の鉄や銅と結合することによって、組織呼吸（内呼吸とも言われ、血液で運ばれた酸素が各組織に取り込まれ、そこで生じた二酸化炭素を取り去る過程）を抑制するためです。高濃度のシアン化合物を取り込んだ場合は短時間で死に至ります。また、低濃度のシアン化合物を取り込み続けると、頭痛、めまいなどを起こすとの報告があります。

（参考：環境省水・大気環境局「土壌汚染に関するリスクコミュニケーションガイドライン」）